



カンボジアとクメール・ルージュの歴史

1～8 世紀

フーナン王国として国の原型ができる。
国力により、領土の拡大・縮小が繰り返される。

9～15 世紀初頭

「カンボジア王国」誕生。アンコール時代。
繁栄を極め、大帝国を築き上げる。

15～19 世紀半ば

衰退し始める。
東南アジアの新興国ベトナムとタイ(シャム)の両国の従属国となる。

1863	8月11日	フランスとの保護条約、調印。
1884	6月17日	フランス・カンボジア協約、調印。 フランスの支配が強化される。
1945	3月9日	インドシナが日本の管理下になる。
1953	11月9日	フランスから独立。「カンボジア王国」誕生。 国家元首はシハヌーク国王。 ロン・ノル将軍によるクーデター。 ロン・ノル政権の「クメール共和国」誕生(親米・新南ベトナム)。
1970	3月18日	シハヌーク、亡命先の北京で「カンボジア王国民族連合政府」を樹立。 「カンプチア民族統一戦線(FUNK)」を結成。その一組織として、ポル・ポト率いる「クメール・ルージュ」が参加。
1973		アメリカがベトナム戦争の一環として、いわゆる「ホーチミンルート」遮断を目的に、カンボジア攻撃を開始。
1975	4月17日	クメール・ルージュ、プノンペン入城。
1976	1月5日	新政権、国名を民主カンプチア(民主カンボジア)と改称。 国家元首にシハヌーク(1975. 9に帰国)が就任。
	4月11日	新政権「民主カンプチア」(実質的にポル＝ポト政権)発足。
1978	12月25日	かつてポル・ポトの配下だったヘン・サムリン率いる「カンプチア民族救国統一戦線」とともに、ベトナム軍、カンボジアへ侵攻開始。
1979	1月10日	ヘン・サムリン政権、成立。
	9月7日	ポル・ポト政権が代表権を失う。
	21日	国連総会でポル・ポト政権の代表権を認める。
1980	10月13日	国連総会でポル・ポト政権追放案、否決。
1981	3月31日	シハヌークが「独立・中立・平和・協力を守るカンボジアのための民族統一戦線」(FUNCINPEC)を結成。
	6月24日	ヘン・サムリン政権が国名を「カンボジア人民共和国」とする。
1982	6月22日	シハヌーク、ポル・ポト、ソン・サン(かつてロン・ノル政権で首相を務めた)の各派が「民主カンプチア連合政府三派」を組織。政権に対抗。 カンボジアは二重政権状態に陥り、勢力同士の対立によって内戦はさらに続く。
1985	1月14日	ヘン・サムリン政権フン・センが首相就任。
1986	3月17日	四派連合政府樹立など、提案なされる。

1987	12月3日	シハヌークとファン・セン首相の第1回直接会談。
1988	7月25日	四派の第一回会談。
1989	7月30日	カンボジア和平パリ国際会議。
	9月26日	駐留ベトナム軍の撤退完了。
1990	2月	三派連合政府が「カンボジア国民政府」に改称。
	6月4日	最高国民評議会(SNC)設置、合意。
	12月23日	SNCが和平国連最終文書に合意。
1991	5月1日	四派が「無期限停戦とSNC本部のプノンペン設置」を合意。
	10月23日	「カンボジア紛争の包括的政治解決に関する協定」(パリ和平協定)調印。
1992	2月	国連カンボジア暫定統治機構(UNTAC)発足。
	5月9日	武装解除の第一段階、終了。
	6月13日	武装解除、第二段階開始。クメール・ルージュは武装解除拒否。
1993	5月	カンボジア総選挙。シハヌークの息子ラナリット率いる FUNCINPEC 党と、ヘン・サムリン政権の母体である人民党からなる連立政権が発足。ラナリットが第一首相、人民党のファン・センが第二首相を務める「二人首相制」となる。
	9月23日	新憲法、公布。
	24日	シハヌーク国王を国家元首とする「カンボジア王国」が統一政権となる。
1996	夏	クメール・ルージュ幹部のイエン・サリ氏、投降。(ファン・センの工作による)
1997		プノンペンで FUNCINPEC 党と人民党の軍隊が衝突。
	6月	カンボジアが国連にポル・ポト派特別法廷開廷に向けて協力を要請。
1998	7月	総選挙で人民党が第一党となりファン・センが首相の座につく。
	4月15日	ポル・ポト死亡。
1999	3月6日	最後の頭目であったタ・モク元参謀総長をカンボジア政府軍が拘束。
2000	11月23日	武装した反政府テロ組織「カンボジア自由戦士」(CFF)の数十人が、プノンペン郊外の重要施設を襲撃。同夜中に鎮圧。
2001	8月10日	ポル・ポト派特別法廷設置法、成立。
2002	2月8日	カンボジア政府が、国連の協力は国内法で規律されていると主張していることなど理由に、国連、特別法廷設置をめぐる交渉の打ち切り通告。
2003	6月6日	国連とカンボジア政府が、特別法廷を共同設置することで正式合意。
	10月4日	特別法廷につき、下院が、国連と政府が交わした合意文書の批准を承認。
2004	10月14日	「王室評議会」が招集され、王の実子のシハモニ殿下を全会一致で次期国王に選出。これにより、シハヌーク国王の退位が正式に確定。